

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成29年3月10日

計画の名称	三種町における良好な水環境の実現（重点計画）										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成29年度（1年間）			交付対象	三種町												
計画の目標	生活排水処理理想の見直しを実施し、経済的な処理方法に変更するなどの施設更新計画を策定し、より良好な水環境整備の実現をめざす。																
計画の成果目標（定量的指標）	三種町における下水道処理人口普及率を69.7%（H29当初）から72.2%（H29末）に増加させる。																
定量的指標の定義及び算定式	下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）×100										定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 （H29当初）	中間目標値	最終目標値 （H29末）				
											69.7%		72.2%				
全体事業費	合計 （A+B+C+D）	135.4百万円	A	135.4百万円	B	0.0百万円	C	0.0百万円	D	0.0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
I-A1-2	下水道	過疎	三種町	直接	三種町	袋谷地区の管渠整備	汚水管φ100～200 L=1.5km	三種町						135.4			
													合計	135.4			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
													合計	0			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31				
													合計				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考		
									H27	H28	H29	H30	H31				
													合計				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

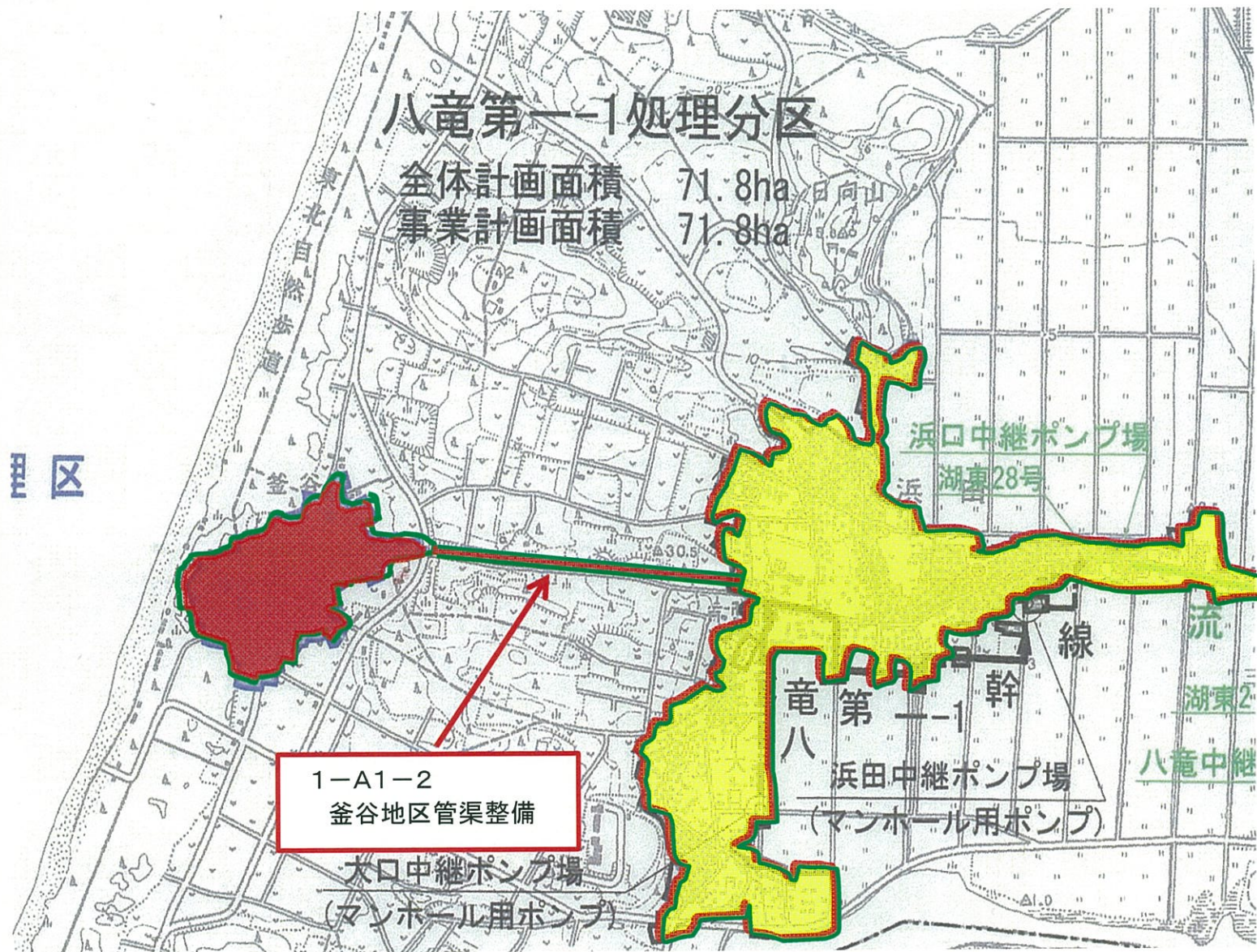
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)			67.7		
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

社会資本整備総合交付金

計画の名称	三種町における良好な水環境の実現(重点計画)		交付対象	三種町
計画の期間	平成29年度(1年間)			



凡 例	
	全体計画区域
	認可計画区域
	既整備区域
	計画区域

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 三種町における良好な水環境の実現(重点計画)

事業主体名: 三種町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1)計画の目標が上位計画等と適合している。	○
2)地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
4)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
③事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
④円滑な事業執行の環境	
①計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
②事業実施のための環境整備が図られている。	○
③関連する機関との調整が図られている。	○
⑤地元の熱意	
④事業に向けた機運がある。	○
⑤継続的な事業の展開が見込まれる。	○